

毎月5日はいすみ市「市民防災の日」

風水害・土砂災害に備えよう！！

恐ろしい土砂災害を防止するために、現在様々な対策がおこなわれていますが、それだけでは十分に災害を防ぐことはできません。被害を最小限に抑えるためには、一人一人が気象情報等に注意して早めに避難することが大切です。

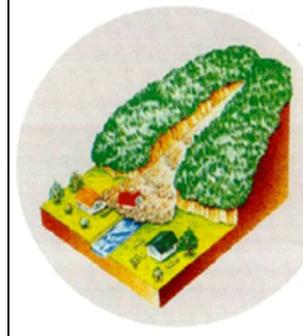
《土砂災害警戒情報》

大雨が降り出したら『土砂災害警戒情報』に注意しましょう。土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに避難勧告などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう発表される情報です。

お住まいの地域に土砂災害警戒情報が発表されたら早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。



《土砂災害の種類と前兆現象》

土砂災害の種類	がけ崩れ	地滑り	土石流
			
特徴	がけ崩れ、山崩れなど。突発的かつ急速におこることが多いのが特徴です。	すべりやすい地層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象です。	土石と水が一体となって一気に流れ落ちる現象。昔から『鉄砲水』といって恐れられています。
主な前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>がけからの水が濁る</u> ・ <u>がけに亀裂が入る</u> ・ <u>小石がバラバラ落ちてくる</u> ・ <u>地鳴りがする</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地面にひび割れができる</u> ・ <u>沢や井戸の水が濁る</u> ・ <u>斜面から水が噴き出す</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>山鳴りがする</u> ・ <u>雨が降り続けているのに、川の水位が下がる</u> ・ <u>川が濁ったり、流木が混ざり始める</u>

《大雨・洪水等による 警報・注意報の種類》



- ・ 警報：『重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒』を呼びかけて行う予報です。
- ・ 注意報：『災害が起こるおそれがあるときに注意』を呼びかけて行う予報です。

主な種類	気象庁による発表の基準(夷隅・安房地域)	内容
大雨警報	1時間雨量 50mm 以上	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがあり、基準以上の雨量が予想される場合に、発表されます。
大雨注意報	1時間雨量 30mm 以上	大雨によって、被害が起こるおそれがあり、基準以上の雨量が予想される場合に、発表されます。
洪水警報	1時間雨量 50mm 以上	洪水によって、重大な災害がおこるおそれがあり、基準以上の雨量が予想される場合に、発表されます。
洪水注意報	1時間雨量 30mm 以上	洪水によって、被害が起こるおそれがあり、基準以上の雨量が予想される場合に、発表されます。

(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) 気象庁 HP より

《特別警報》

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起きるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。これに加え、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、『特別警報』を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

『特別警報』が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

『いすみ市防災メール』への登録はお済みですか？

市では、地震や津波などの防災情報をはじめ、気象警報や市からのお知らせなどを電子メールを利用して配信しています。登録は無料ですので、ぜひご利用ください。

(<https://service.sugumail.com/isumi/member/>)



《いすみ市防災カルタの貸出し》

防災意識は子供から大人への考えの下、全ての災害に対し、市民全体の防災意識の啓発や高揚を図ることを目的にいすみ市防災カルタの貸出しをしています。

ぜひ、ご利用下さい！！

貸出要件

- ・ 貸出期間：原則2週間以内
- ・ 貸出対象：団体及び個人
- ・ 貸出料金：無料



「ゆれたらにげる より遠くへ より高台へ」

問い合わせ いすみ市役所 危機管理課 TEL 62-2000